

経営改革に係る取組み等について

団体名 (社福)松山市社会福祉協議会

平成25年3月31日現在

1. サービス向上に向けた取組み(主なもの)

取組目標	①高齢者の見守り体制の強化 ②相談支援機能の充実 ③ボランティアの養成 ④職員の資質向上		
具体的な取組内容等	①携帯電話のメール機能を活用し、徘徊等によって行方不明となった高齢者を早期発見・保護するための見守り体制のシステムを構築し、見守り体制の強化を図った。(認知症高齢者徘徊ネットワークモデル事業) ②認知症高齢者や一人暮らしの高齢者の増加等により、成年後見制度の利用が増加することが予想されるため、市民後見人になれる人材の確保に向けた講座・研修を実施した。(市民後見人養成講座) ③ボランティア活動の拡充及び活性化を図るため、災害ボランティアや傾聴ボランティアの養成を図った。(災害ボランティア養成講座・傾聴ボランティア養成講座) ④外郭団体間において、質の高い市民サービスの提供や職員の資質向上を図るため、職種に応じた研修等の実施計画を作成することを目的として、研修に関する連絡会を設立した。	実績額又は効果額 (※表せる場合のみ)	-

2. 経費縮減に向けた取組み(主なもの)

取組目標	①正規職員退職時の嘱託職員対応による人件費の縮減 ②総合福祉センター光熱費の縮減		区分
			■ 人件費
			■ その他経費
具体的な取組内容等	①正規職員1名退職時に、当該職員の再雇用を優先し、人件費の縮減に努めた。 ②隣接するマンションからの騒音苦情に対応するため、夜間電力から昼間電力の使用に切り替えたことによる電気料金の増額を抑制するため総合福祉センターの電灯のLED化に順次取り組んだ。 ※【実績額】 ①23年度：4,562千円→24年度：2,830千円(1,732千円の削減) ②23年度：20,793千円→24年度：19,993千円(800千円の削減)	実績額又は効果額 (概算)	前年度比較 ①1,732千円の削減 ②800千円の削減

3. 収入財源確保に向けた取組み(主なもの)

取組目標	①社協会員への加入促進 ②寄付金の確保 ③広告収入の確保		
具体的な取組内容等	①個人・団体・企業等への新規依頼先を拡充し、各種福祉事業に活用するための財源確保に努めた。 ②ホームページや市広報誌を通じて広く市民に寄付者の周知(希望者のみ)を図るとともに、お礼とあわせ寄付者に寄付金充当事業の報告を行うこと等によりまごころ銀行の啓発及び寄付の拡大を図った。 ③「若草福祉まつり」において作成しているリーフレットへの広告掲載を関係機関、団体、企業等へ依頼し、広告収入により財源確保に努めた。 ※【実績額】 ①23年度：4,477千円、24年度：4,482千円 ②23年度：14,114千円、24年度：6,453千円(大口寄付があったため) ③23年度：370千円、24年度：350千円	実績額又は効果額 (概算)	24年度実績額 ①社協会費 4,482千円 ②まごころ銀行寄付金 6,453千円 ③広告収入 350千円

4. 団体の自己評価

事業・経営評価	目的の達成状況		評価根拠
事業・経営評価	<input type="checkbox"/>	達成できた	1. サービス向上に向けた取組み 地区社協や地区民協等の要望に基づき事業計画を踏まえて事業を展開し、概ね目標を達成するとともに、新たな取り組みとして職員の資質向上を図るため外郭団体間の連携・協働に努めた。 2. 経費縮減に向けた取組み 目標どおり人件費の縮減に取り組む中で、予算の範囲内で総合センターの維持管理経費の抑制を図った。 3. 収入財源確保に向けた取組み 実績額欄に記載のとおり当初目標額に近い実績を達成している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	概ね達成できた	
	<input type="checkbox"/>	達成できていない部分がある	
	<input type="checkbox"/>	達成できなかった	